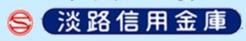


日の出と気嵐(洲本市安平浜)

わたしたちのマチの 景況レポート No. 20

2019年10~12月期実績・2020年1~3月期見通し

今日も 楽しい おつきあい



調査概要

1. 調査時期 : 2019 年 10~12 月期実績・2020 年 1~3 月期見通し

2. 調査方法 : 当金庫の営業店職員による「聴取り」調査

3. 調査企業数 : 689 社

製 造 業 156社 卸 売 業 102社 小 売 業 118社 サービス業 119社 建 設 業 144社 不動産業 50社

4. 調査地区 : 当金庫事業地区 (洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、

尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市)

5. 分析方法: D. I. (「良い」「増加」「上昇」の回答割合 - 「悪い」「減少」「下降」の回答割合) ※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

指標	内容	プラス	マイナス
業況	調査時点での回答企業の業況 「良い」-「悪い」	良い >悪い	良い< 悪い
売上額	前期(四半期)と比較した売上 「増加」ー「減少」	増加 >減少	増加< 減少
収益	前期(四半期)と比較した収益 「増加」ー「減少」	增加 >減少	増加< 減少
販売価格	前期(四半期)と比較した販売価格 「上昇」ー「下降」	上昇 >下降	上昇< 下降
仕入価格	前期(四半期)と比較した仕入価格 「上昇」ー「下降」	上昇 >下降	上昇< 下降
人手過不足	調査回答時点での人手 「過剰」「不足」	過剰 >不足	過剰< 不足
資金繰り	前期(四半期)と比較した資金繰り「楽」ー「苦」	楽 > 苦	楽 < 苦

設備投資企業割合 設備投資実施の有無

例

人手不足▲50とは

人手 (1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足

■ 回答数を集計し、回答割合を算出

	(1)過剰	(2)やや過剰	(3)適正	(4)やや不足	(5)不足	合計
回答数	35	35	210	280	140	700
回答割合	5.0%	5.0%	30.0%	40.0%	20.0%	100.0%
		γ			γ	
	人手不足=	10	_		60	= ▲ 50

業種別地区別天気図

地区業種		全事業地区 (689先)			淡路地区 (394先)		神明地区 (295先)			
時期	2019年 7~9月 (前期)	2019年 10~12月 (今期)	2020年 1~3月 (見通し)	2019年 7~9月 (前期)	2019年 10~12月 (今期)	2020年 1~3月 (見通し)	2019年 7~9月 (前期)	2019年 10~12月 (今期)	2020年 1~3月 (見通し)	
総合		9711		9711	<i>?;;;</i>	Ţ				
製造業	9711		F		S	S				
卸売業		<i>????</i>	Ţ	Ţ	Ĵ	Ţ		(4)	<i></i>	
小売業	91111	Ţ	Ĵ	Ĵ	Ţ	N	<i>,,,,,</i>	<i></i>	9777	
サービス業			97777		9777	<i>,,,,,</i>		(1)	<i></i>	
建設業										
不動産業				(4)		<i>""""</i>				



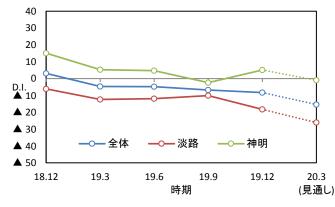
全業種

前期

今期



 業況判断 D. I. の推移(地区別)



			(D.I.)
	19年9月 (前期)	19年12月 (今期)	20年3月 (見通し)
業況	-6.8	-8.3	-15.4
売上額(前期比)	-6.2	-5.7	-15.0
収益(前期比)	-8.8	-9.3	-19.9
販売価格(前期比)	1.3	5.4	-0.1
仕入価格(前期比)	21.8	26.2	16.5
人手過不足(過剰-不足)	-36.0	-36.7	-34.6
資金繰り(楽-苦)	-3.9	-3.5	-4.5
設備投資実施企業割合(%)	24.0	25.2	21.8



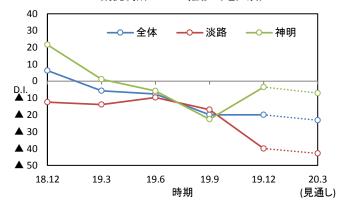
今期の業況は前期と変わらず▲20.0 となった。地区別に見ると両地区ともマイナス水準にて推移したが淡路は大きく落ち込み、神明は大きく改善した。収益面では販売価格は僅かながらプラス水準となったが、仕入価格が上昇基調を強め、収益は前期比9.6 料改善するも▲16.0 と依然として厳しい状況が続いている。人手過不足は0.7 採低下し▲29.5 と不足感が強まった。来期の業況は▲23.2 と今期実績比3.2 料の悪化を見込む。

お客様の声

受注見通し立たず生産性向上のために設備投資をしたいが抑えている。人手不足だが、現状の人員でも人件費は増加傾向にあり利幅の改善が課題。 (淡路)

間断なく受注確保するも特急対応が大半で、先々の 受注は少ない。昨年のように台風で部品の供給が停滞 し、業界全体が影響を受けないか懸念している。(神明)

業況判断 D. I. の推移(地区別)



			(D.I.)
	19年9月 (前期)	19年12月 (今期)	20年3月 (見通し)
業況	-20.0	-20.0	-23.2
売上額(前期比)	-24.4	-11.5	-27.6
収益(前期比)	-25.6	-16.0	-30.8
販売価格(前期比)	-1.9	0.6	-3.2
仕入価格(前期比)	25.0	29.0	16.8
人手過不足(過剰-不足)	-28.8	-29.5	-26.9
資金繰り(楽一苦)	-11.5	-1.9	-8.3
設備投資実施企業割合(%)	28.4	27.3	22.4

卸売業

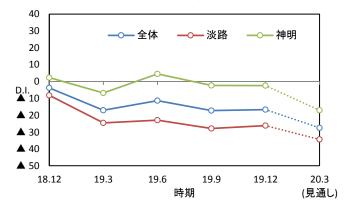
今期の業況は▲16.7 と前期比 0.6 ∜改善したが依然厳しい水準で推移した。地区別では淡路・神明ともマイナス水準にあるが、淡路は▲26.2 と神明に比べマイナス幅が大きく厳しい様子。収益面では、販売価格は1.0 ∜上昇し2.9 となったが仕入価格は9.8 と未だ高水準にあり、売上額▲9.8、収益▲11.8 と、ともに低下した。人手過不足は▲26.0 と前期比9 ∜ 改善し不足感は緩和した。来期の業況は▲27.5 と大きく悪化を見込んでいる。

お客様の声

消費税率引上げに伴いキャッシュレス・ポイント還 元事業に参加しているが、今後決済システム利用料が どう推移するか懸念している。 (淡路)

今まで在庫管理が徹底されていなかったことから不 良が発生していたが、在庫管理ソフトを導入し利益率 の向上を目指している。 (神明)

業況判断 D. I. の推移(地区別)



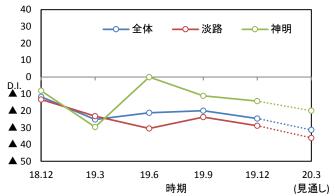
			(D.I.)
	19年9月 (前期)	19年12月 (今期)	20年3月 (見通し)
業況	-17.3	-16.7	-27.5
売上額(前期比)	-1.9	-9.8	-17.6
収益(前期比)	-3.8	-11.8	-22.5
販売価格(前期比)	1.9	2.9	2.9
仕入価格(前期比)	14.4	9.8	6.9
人手過不足(過剰-不足)	-35.0	-26.0	-24.0
資金繰り(楽ー苦)	-1.9	-3.9	-2.0
設備投資実施企業割合(%)	16.3	15.8	15.0



来期

今期の業況は、▲24.6と前期比4.6 が悪化した。 販売価格がプラス水準に転じたものの仕入価格も 一段と上昇し、売上額▲23.7、収益▲25.4 ととも に低下した。人手過不足は▲31.4と前期比6.4 紫 マイナス幅拡大し、不足感が強まった。資金繰り は▲12.7と同2.7 54低下、厳しい水準が続く。来 期の業況は今期実績比 6.8 が低下の▲31.4 と一段 の悪化を見込む。

業況判断 D. I. の推移(地区別)



お客様の声 ―

近年旅行者はカード決済が多く手数料の支払いが増 加しており、売上が増加するほど入金までの資金繰り が厳しくなる。 (淡路)

消費税率引上げの影響ははっきりと分からないが、 本年4月に施行される受動喫煙防止条例の影響の方が 大きそうである。 (神明)

			(D.I.)
	19年9月 (前期)	19年12月 (今期)	20年3月 (見通し)
業況	-20.0	-24.6	-31.4
売上額(前期比)	-11.7	-23.7	-27.1
収益(前期比)	-14.2	-25.4	-29.7
販売価格(前期比)	-3.3	7.6	-1.7
仕入価格(前期比)	10.0	22.9	11.9
人手過不足(過剰-不足)	-25.0	-31.4	-28.8
資金繰り(楽-苦)	-10.0	-12.7	-11.9
設備投資実施企業割合(%)	17 1	16.8	123

サービス業

今期の業況は前期より5ポイント悪化し▲5.0 と マイナス水準に落ち込んだ。収益面では販売価格が (28.4) に次ぐ高水準となり、売上額▲5.0、収益▲ が▲39.5と深刻な状況が続く。設備投資は前期比7.3 が増加し約3分の1の企業が実施した。来期の業況 は▲13.4と今期実績比8.4 ∜の悪化を見込む。

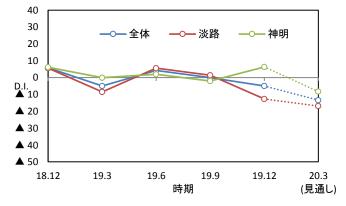
お客様の声

慢性的な人手不足は改善できていない。社員の個々 の能力アップを図ることで、業務の効率化に繋げてい (淡路地区) く。

カーナビ関連のソフトウェア開発を主力としてい る。自動運転技術など自動車の IoT 化により今後さら なる成長が見込まれる。 (神明)

業況判断 D. I. の推移(地区別)

前期



			(D.I.)
	19年9月 (前期)	19年12月 (今期)	20年3月 (見通し)
業況	0.0	-5.0	-13.4
売上額(前期比)	4.2	-5.0	-12.7
収益(前期比)	-1.7	-5.0	-15.3
販売価格(前期比)	5.8	18.5	4.2
仕入価格(前期比)	27.7	28.0	17.1
人手過不足(過剰-不足)	-40.8	-39.5	-36.8
資金繰り(楽-苦)	-5.8	-5.0	-1.7
設備投資実施企業割合(%)	25.2	32.5	27.8









(見通し)

業況は前期比 0.7 が低下するも今期も高水準を維持し17.4となった。淡路、神明とも高水準にて推移した。収益面では、売上額が前期比7.6 が上昇し13.9、収益も同 2.1 が上昇し 5.6 とともに上昇した。深刻な状況が続く人手過不足はさらに 3.5 が低下し▲62.5 となった。資金繰りは同 4.9 が低下するも 1.4とプラス水準を維持、設備投資は同 0.8 が増加し約3割の企業が実施した。来期の業況は今期実績比 9.1 が低下するも 8.3 とプラス水準維持を見込む。

お客様の声 ―

津波・台風等の災害対策を中心としたインフラ整備 の需要拡大を背景に業況は堅調に推移している。

(淡路)

受注は緩やかに伸びていく見通しであるが、人手不 足感が拭えず外注依存度が高まっており、結果として 利幅の確保に苦戦している。 (神明)

業況判断 D. I. の推移(地区別) 30 20 10 0 D.I. 10 ▲ 20 **A** 30 - 全体 —○— 淡路 —○— 神明 **4**0 **A** 50 18.12 19.3 19.6 19.9 19.12 20.3

			(D.I.)
	19年9月 (前期)	19年12月 (今期)	20年3月 (見通し)
業況	18.1	17.4	8.3
売上額(前期比)	6.3	13.9	6.3
収益(前期比)	3.5	5.6	-4.2
販売価格(前期比)	3.5	2.1	1.4
仕入価格(前期比)	31.9	43.8	31.9
人手過不足(過剰-不足)	-59.0	-62.5	-61.8
資金繰り(楽一苦)	6.3	1.4	0.7
設備投資実施企業割合(%)	29.5	30.3	28.9

不動産業

今期の業況は 2.0 と前期比 2.0 紫改善した。収益 面では仕入価格が同 8.2 紫下降し、売上額 6.0、収益 2.0 とともにプラス水準へと改善した。人手過不足は ▲12.2 と同4 紫低下し、不足感は強まった。資金繰 りは同 2.1 紫低下するも 4.0 とプラス水準にて推移 した。来期の業況は今期実績比4 紫低下し再びマイ ナス水準を見込む。

お客様の声

商圏人口の減少により空室は増加しているが、商品 構成は充実しており様々なニーズに対応できるので情 報発信を上手く行い集客を増やしたい。 (淡路)

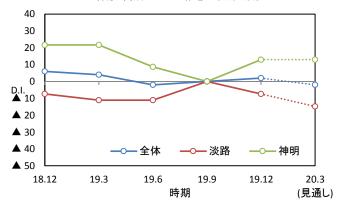
消費税率引上げについての影響は全くない。住宅ローン減税控除期間延長等の効果ではないかと考えている。 (神明)

業況判断 D. I. の推移(地区別)

前期

今期

来期



			(D.I.)
	19年9月 (前期)	19年12月 (今期)	20年3月 (見通し)
業況	0.0	2.0	-2.0
売上額(前期比)	-6.0	6.0	-8.0
収益(前期比)	-6.0	2.0	-14.0
販売価格(前期比)	4.2	-2.0	-8.0
仕入価格(前期比)	12.2	4.0	0.0
人手過不足(過剰-不足)	-8.2	-12.2	-10.2
資金繰り(楽一苦)	6.1	4.0	-2.0

問1 2020年の景気見通し

2020年の日本の景気見通しについて、「良い」(「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計)は16.0%、「悪い」(「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計)は42.6%となり、「良い」から「悪い」を引いた結果は▲26.6と1年前の調査(▲8.4)に比べ大きく低下した。従業員規模別に見ると、規模が大きくなるにつれやや強気の傾向が見られた。業種別に見ると製造業、小売業で厳しい見通しとなった。

											(単位:%)
		良い (A)	非常に良い	良い	やや良い	普通	悪い (B)	やや悪い	悪い	非常に悪い	(A)-(B)
	2020年見通し	16.0	0.3	4.2	11.5	41.4	42.6	32.1	8.9	1.6	▲26.6
	2019年見通し	23.0	0.4	4.3	18.3	45.6	31.4	24.7	5.8	0.9	▲8.4
全体	2018年見通し	25.0	0.4	6.6	18.0	46.7	28.3	21.6	5.9	0.8	▲3.3
	2017年見通し	12.3	0.0	1.0	11.3	42.4	45.3	35.0	9.7	0.6	▲33.0
	2016年見通し	15.8	0.0	2.9	12.9	41.0	43.2	35.3	7.3	0.6	▲27.4
地区	淡路地区	16.5	0.3	3.3	12.9	39.3	44.2	33.5	8.4	2.3	▲27.7
別	神明地区	15.3	0.4	5.4	9.5	44.2	40.5	30.3	9.5	0.7	▲25.2
	1 ~ 4人	13.2	0.0	4.4	8.8	43.3	43.5	31.2	10.4	1.9	▲30.3
	5 ~ 9人	18.7	0.0	3.9	14.8	38.1	43.2	31.0	11.0	1.2	▲24.5
規	10 ~ 19人	15.3	1.0	3.1	11.2	39.8	44.9	35.7	7.1	2.1	▲29.6
Aπ	20 ~ 29人	11.9	0.0	4.8	7.1	42.9	45.2	42.9	2.3	0.0	▲33.3
模	30 ~ 39人	17.9	0.0	3.6	14.3	39.2	42.9	28.6	10.7	3.6	▲ 25.0
15	40 ~ 49人	40.0	0.0	10.0	30.0	30.0	30.0	30.0	0.0	0.0	10.0
別	50 ~ 99人	19.0	4.8	4.8	9.4	47.7	33.3	33.3	0.0	0.0	▲14.3
733	100~199人	10.0	0.0	0.0	10.0	60.0	30.0	30.0	0.0	0.0	▲20.0
	200~299人	100.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	300人~	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業	製 造 業	18.1	1.3	5.8	11.0	33.5	48.4	33.5	12.3	2.6	▲30.3
*	卸 売 業	21.5	0.0	8.8	12.7	36.3	42.2	29.4	11.8	1.0	▲20.7
種	小 売 業	7.6	0.0	0.8	6.8	37.3	55.1	40.7	11.9	2.5	▲47.5
1里	サービス業	16.8	0.0	5.0	11.8	48.7	34.5	30.3	4.2	0.0	▲17.7
別	建設業	17.4	0.0	2.1	15.3	43.0	39.6	33.3	5.6	0.7	▲22.2
,,,,	不 動 産 業	12.0	0.0	2.0	10.0	64.0	24.0	14.0	6.0	4.0	▲12.0

問2 2020年の業況見通し

2020年の自社の業況見通しについて、「良い一悪い」が \triangle 21.5 と 1年前の調査に比べ 13.2 が低下した。地区別に見ると淡路(\triangle 29.7)が神明(\triangle 10.6)に比べて厳しい見通しを立てた。従業員規模別では規模が大きくなるにつれて見通しが明るくなる傾向が見られた。業種別に見ると不動産業以外はマイナスとなり、とりわけ小売業では \triangle 47.5 と厳しい見通しとなった。

											(単位:%)
		良い (A)	非常に良い	良い	やや 良い	普通	悪い (B)	やや 悪い	悪い	非常に悪い	(A)-(B)
	2020年見通し	14.4	0.7	3.1	10.6	49.7	35.9	28.6	6.3	1.0	▲21.5
	2019年見通し	20.8	0.6	4.7	15.5	50.1	29.1	23.7	4.4	1.0	▲8.3
全体	2018年見通し	21.3	0.6	5.3	15.4	47.2	31.5	24.7	5.7	1.1	▲10.2
	2017年見通し	12.5	0.0	2.2	10.3	52.5	35.0	29.6	3.9	1.5	▲22.5
	2016年見通し	14.8	0.4	2.8	11.6	47.8	37.4	30.2	6.0	1.2	▲22.6
地区	淡路 地区	11.2	0.6	1.5	9.1	47.9	40.9	33.2	6.1	1.6	▲29.7
別	神明地区	18.7	1.0	5.1	12.6	52.0	29.3	22.4	6.5	0.4	▲10.6
	1 ~ 4人	9.5	0.4	2.2	6.9	51.1	39.4	30.6	7.9	0.9	▲29.9
	5 ~ 9人	17.4	0.7	3.2	13.5	47.8	34.8	27.7	5.2	1.9	▲17.4
規	10 ~ 19人	18.4	0.0	5.1	13.3	50.0	31.6	27.6	4.0	0.0	▲13.2
쟀	20 ~ 29人	18.4	0.0	5.1	13.3	50.0	31.6	27.6	4.0	0.0	▲13.2
模	30 ~ 39人	28.6	3.6	7.1	17.9	35.7	35.7	21.4	10.7	3.6	▲ 7.1
1天	40 ~ 49人	30.0	0.0	0.0	30.0	50.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0
別	50 ~ 99人	33.3	4.8	9.5	19.0	38.1	28.6	23.8	4.8	0.0	4.7
נינג	100~199人	10.0	0.0	0.0	10.0	70.0	20.0	10.0	10.0	0.0	▲10.0
	200~299人	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	300人~	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
業	製 造 業	16.6	0.6	6.4	9.6	41.7	41.7	32.7	6.4	2.6	▲25.1
未	卸 売 業	11.8	1.0	3.9	6.9	49.0	39.2	29.4	9.8	0.0	▲27.4
種	小 売 業	4.2	0.0	0.8	3.4	44.1	51.7	38.1	11.0	2.6	▲47.5
7里	サービス業	16.9	0.8	2.5	13.6	54.3	28.8	25.4	3.4	0.0	▲11.9
別	建 設 業	19.4	1.4	1.4	16.6	53.5	27.1	23.6	3.5	0.0	▲ 7.7
נימ	不動産業	16.0	0.0	2.0	14.0	68.0	16.0	14.0	2.0	0.0	0.0

問3 2020年の売上額見通し

2020年の売上額見通し(伸び率)を「増加」から「減少」でみると、再びマイナスに転じ、▲7.2となった。地区別に見ると神明はプラス、淡路はマイナスと見通しが分かれた。業種別では製造業、卸売業、小売業でマイナス、とりわけ小売業で厳しい見通しとなったが、サービス業、建設業、不動産業ではプラスで明るい見通しとなった。

													(単位:%)
		增加 (A)	30% 以上	20~ 29%	10~ 19%	10% 未満	変化なし	減少 (B)	10% 未満	10~ 19%	20~ 29%	30% 以上	(A)-(B)
	2020年見通し	24.3	1.2	1.2	5.7	16.2	44.2	31.5	22.6	6.3	1.3	1.3	▲ 7.2
	2019年見通し	31.0	1.0	1.9	8.4	19.7	45.4	23.6	15.9	5.3	1.3	1.1	7.4
全体	2018年見通し	34.7	1.3	1.5	9.5	22.4	40.3	25.0	14.6	7.2	2.3	0.9	9.7
P	2017年見通し	25.9	1.3	0.6	5.9	18.1	42.4	31.7	19.4	7.8	2.9	1.6	▲ 5.8
	2016年見通し	25.5	2.5	1.3	4.4	17.3	41.2	33.3	24.2	6.0	1.3	1.8	▲ 7.8
地区	淡路地区	19.3	1.0	1.3	5.0	12.0	43.8	36.9	25.2	8.1	2.1	1.5	▲ 17.6
別	神明地区	31.1	1.4	1.0	6.9	21.8	44.7	24.2	19.1	3.8	0.3	1.0	6.9
	1 ~ 4人	16.4	0.9	1.3	4.4	9.8	46.1	37.5	26.2	8.5	0.9	1.9	▲21.1
	5 ~ 9人	24.7	1.3	0.6	6.6	16.2	46.1	29.2	20.1	5.8	1.4	1.9	▲ 4.5
規	10 ~ 19人	35.7	1.0	3.1	7.1	24.5	42.9	21.4	17.3	1.0	3.1	0.0	14.3
	20 ~ 29人	21.4	2.4	0.0	4.7	14.3	45.3	33.3	31.0	2.3	0.0	0.0	▲11.9
模	30 ~ 39人	32.1	3.6	0.0	3.6	24.9	35.8	32.1	17.9	14.2	0.0	0.0	0.0
沃	40 ~ 49人	50.0	0.0	0.0	20.0	30.0	30.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	30.0
	50 ~ 99人	65.0	0.0	0.0	10.0	55.0	15.0	20.0	15.0	5.0	0.0	0.0	45.0
別	100~199人	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	70.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0
	200~299人	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.4	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	300人~	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
業	製 造業	27.1	0.6	1.3	5.8	19.4	37.4	35.5	23.2	7.1	2.0	3.2	▲ 8.4
	卸 売 業	22.5	0.0	2.0	6.8	13.7	47.1	30.4	21.6	5.9	2.9	0.0	▲ 7.9
種	小 売 業	12.8	0.0	0.0	3.4	9.4	41.9	45.3	33.3	11.1	0.0	0.9	▲32.5
浬	サービス業	28.8	3.4	0.8	6.0	18.6	44.9	26.3	22.0	3.4	0.9	0.0	2.5
	建設業	25.7	2.1	1.4	5.5	16.7	51.4	22.9	17.4	2.8	0.6	2.1	2.8
別	不動産業	32.0	0.0	2.0	10.0	20.0	42.0	26.0	14.0	10.0	2.0	0.0	6.0

問4 自社の業況が上向く転換点

自社の業況が上向く転換点の問いに、「すでに上向 き」とする回答割合が1年前の調査に比べて1.9 紫低 下し19.1%となった。一方、「業況改善の見通しなし」 とする回答割合は同2 5%上昇し35.9%となった。地区 別に見ると、淡路は「業況の改善見通しなし(42.2%)」 が「すでに上向き(8.7%)」を上回ったのに対し、神 明は「すでに上向き (32.9%)」が「業況の改善見通し なし(27.5%)」を上回り反対の結果となった。業種別 では小売業で「業況の改善見通しなし」が 57.3%と他 の業種に比べて高かった。

								(単位:%)
		すでに 上向き	6か月 以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善 の見通し なし
Г	2020年見通し	19.1	9.3	12.2	7.7	7.3	8.5	35.9
	2019年見通し	21.0	9.0	13.3	9.7	6.4	6.7	33.9
全体	2018年見通し	19.7	11.4	11.6	7.5	7.3	11.6	30.9
PŦ	2017年見通し	10.3	10.9	13.6	8.6	14.5	10.6	31.5
L	2016年見通し	13.6	9.8	16.7	8.2	11.4	9.1	31.2
地区	淡路地区神明地区	8.7	10.5	13.6	8.2	7.8	9.0	42.2
別	神明地区	32.9	7.8	10.5	7.1	6.4	7.8	27.5
	1 ~ 4人	15.8	6.6	10.7	4.4	6.3	9.8	46.4
	5 ~ 9人	15.6	12.3	14.9	8.4	8.4	9.2	31.2
規	10 ~ 19人	28.9	16.5	10.3	6.2	5.1	7.2	25.8
	20 ~ 29人	16.7	2.4	16.7	14.3	7.0	11.9	31.0
模	30 ~ 39人	28.6	7.0	10.7	17.9	17.9	0.0	17.9
1	40 ~ 49人	60.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0
	50 ~ 99人	23.8	9.5	33.3	28.6	0.0	0.0	4.8
別	100~199人	10.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	50.0
	200~299人	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
L	300人~	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
業	製 造業	22.4	9.0	16.0	6.4	7.8	5.1	33.3
	卸売業	18.6	5.9	9.8	14.7	5.9	15.7	29.4
種	小 売 業	6.8	9.4	8.5	6.8	6.1	5.1	57.3
n'±	サービス業	17.9	10.3	15.4	6.8	7.7	9.4	32.5
	建設業	27.1	9.7	7.6	6.3	11.1	6.3	31.9
別	不動産業	18.0	14.0	20.0	6.0	0.0	16.0	26.0

問5 消費税引上げが経営に与えた影響

消費税引上げについて、引上げ前の見通しと比べて どのような影響を受けたかの問いには、「見通しと変 わらない」が74.0%となり、多数を占めた。また、「見 通しより良い影響」は3.7%、「見通しより悪い影響」 は 22.5%となった。「見通しより悪い影響」の内訳と しては「売上の減少(13.5%)」が最も多く、以下、「利 幅の縮小(4.9%)」「事務負担の増加(3.8%)」と続い た。業種別に見ると、小売業で「見通しより良い影響 (9.4%)」が他の業種より比較的高かった。

																单位:%
					見通しより良い影響							見通しより悪い影響				
						ポイ ン 還 制度	食品 等の 軽減 税率	自動 車・等 を を を を を を を を を を と を と を と と と と と	特需 の 発生	その他	見通し と変わ らない		売上 の 減少	利幅 の 縮小	事務 負担 の 増加	その他
全体				3.7	2.0	0.3	0.7	0.2	0.5	73.8	22.5	13.5	4.9	3.8	0.3	
₽.	150	路	地	区	3.3	2.0	0.5	0.0	0.3	0.5	69.0	27.7	16.0	5.6	5.9	0.2
別	神	明	地	区	4.1	2.0	0.0	1.7	0.0	0.4	80.6	15.3	10.2	4.1	1.0	0.0
	1	~	4	시	3.2	1.9	0.4	0.9	0.0	0.0	72.5	24.3	16.1	4.7	3.2	0.3
	5	~	9	시	6.6	3.2	0.7	0.7	0.6	1.4	70.2	23.2	11.0	7.1	5.1	0.0
規	10	~	19	시	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.6	20.4	15.3	2.0	3.1	0.0
	20	~	29	시	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7	9.5	4.8	2.4	0.0
模	30	~	39	시	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	18.5	3.7	14.8	0.0	0.0
大	40	~	49	시	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	50	~	99		9.6	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	66.6	23.8	14.3	0.0	9.5	0.0
別	100)~	199	시	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	200	o~:	299	시	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
)人C	~		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業	製	逪	ī	業	1.3	0.0	0.0	0.6	0.0	0.7	76.3	22.4	16.0	3.2	3.2	0.0
	卸	壳	5	業	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	77.5	20.5	11.8	1.9	6.8	0.0
種	小	壳	5	業	9.4	8.5	0.0	0.0	0.0	0.9	52.1	38.5	30.8	6.0	1.7	0.0
1±	サ・	– E	こス	業	2.5	1.7	0.0	0.0	0.8	0.0	76.2	21.3	9.4	5.9	6.0	0.0
	建	彭	Į	業	2.1	1.4	0.0	0.0	0.0	0.7	84.0	13.9	4.2	6.9	2.8	0.0
別	不	動	産	業	8.0	0.0	2.0	6.0	0.0	0.0	76.0	16.0	6.0	6.0	2.0	2.0

【問合せ先】

淡路信用金庫 業務部

担当:柏木、眞野、三倉

TEL: 0799-22-1020

わたしたちのマチの元気企業 ⑤

淡路麺業株式会社

「本当においしいパスタ麺を多くの人に味わってもらいたい。」という 想いで、牛パスタの製造・販売を行っています。

1909年に淡路島で創業し、麺一筋、今年で110年を迎えます。現代表取締役社長が麺を追求し研究する中で、

「うどんや蕎麦は生麺なのにパスタは乾麺ばかりで本当に美味しい生パスタがない」と疑問を抱き、2007年より生パスタの製造・販売を開始。現在は1日約3万食を製造し、五つ星ホテルやイタリアンレストランなど、全国約2700店舗のお客様にご利用いただいております。





PASTA FRESCA DAN-MEN



また、2015年に本社および工場新設時に同時オープンした 直営生パスタレストラン「PASTA FRESCA DAN-MEN(パスタ フレスカ ダンメン)」を運営しています。

生パスタは、常時30種類以上の生パスタから選択が可能で、 淡路島の旬の食材を使用したメニューをお楽しみいただけます。 また、2ヶ月に1度開催する「パスタ会」や一般向けの料理教室 などのイベントも随時開催し、淡路島から生パスタの魅力を発信 しています。



淡路麺業株式会社

兵庫県淡路市生穂新島9-15

TEL: 0799-64-0811

FAX: 0799-64-0822

オンラインショップでは 生パスタの一般販売 も行っています。

右記よりご覧ください。





兵庫県淡路市生穂新島9-15(本社併設)

TEL: 0799-64-0777

営業時間: LUNCH TIME 11:00~15:00 (L.O14:30)

CAFE TIME 15:00~17:00 (土日祝のみ) DINNER TIME 17:00~21:30 (L.O20:30)



わたしたちのマチの元気企業 ⑥

近年、多数のメディアに取り上げられ、某コンビニエンスストアとコラ ボをした調味料がある。ブランド名は「淡路島ソース」だ。





淡路島の洲本市にある株式会社浜田屋本店が製造する淡路島ソースは 玉ねぎをふんだんに使用した甘味と旨味がある万能調味料として淡路 島土産として人気だ。焼肉やハンバーグ、野菜炒め、揚げ物などなんに でも合う。今では全国のスーパーマーケットなど 5 0 0 店舗以上で販売 されている。

創業明治35年の浜田屋本店は"創造"という理念を元に数多くの商品を生み出してきた。淡路島ソース以外には、高級料亭向けの珍味も製造している。国内で唯一の製造元の商品もいくつかある。 オンリーワン戦略でこれからもみんなに愛される食品を製造する。

珍味の割造 株式 浜田 昼本店 株式会社 浜田屋本店 〒656-2121 兵庫県洲本市安乎町平安浦 1864-8 TEL 0799-28-0330

http://www.hamadaya-honten.jp/